

山王台（さんのうだい）遺跡

山王台遺跡は、JR 内房線袖ヶ浦駅より直線で東に 0.9 km の距離にあり、小櫃川と境川にはさまれた標高約 21m の東京湾に面した台地上に位置しています。

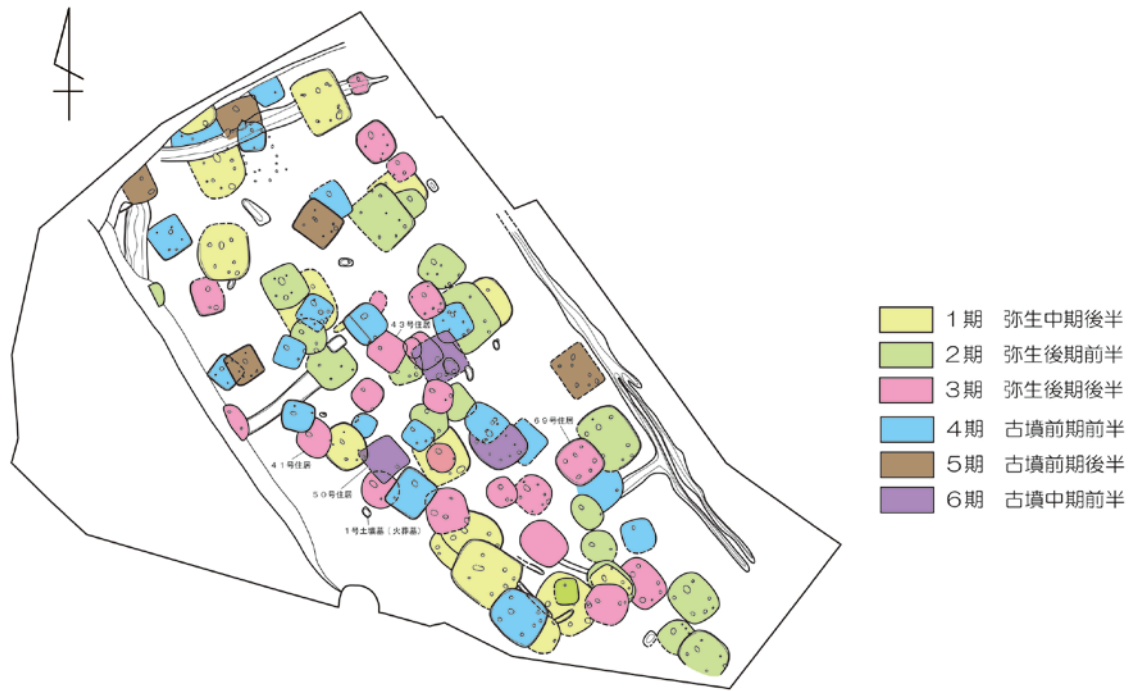
平成 2 年、集合住宅建設に伴い発掘調査が行われました。

発掘調査の結果、縄文時代草創期の土器や弥生時代中期から古墳時代にかけての生活跡やそれに伴う道具が発見されました。

生活跡は、主に竪穴住居で、弥生時代中期（1 世紀）12 軒、弥生時代後期（2 世紀～3 世紀前半）36 軒、古墳時代前期 21 軒（3 世紀後半～4 世紀）、古墳時代中期（5 世紀）3 軒が発見され、そこからは、壺・甕・鉢・高坏（たかつき）・器台（きだい）・埴（かん）などの土器や石斧・砥石などの石製品が発見されました。



山王台遺跡全景



山王台遺跡遺構配置図



山王台遺跡出土遺物 (古墳時代中期)